

デザインは、こうつくる。

トレンドに振り回されない住宅設計戦略

住宅の高性能化が当たり前になり、次に工務店が差別化できることとして、デザインの比重が高まっています。
「良いデザインにはセンスが必要」と考えられがちですが、それ以上に、構造や機能に基づいたロジカルな思考プロセスが重要です。
感覚的ではなく、ずっと使えるデザインの考え方を、具体的な事例と共に詳しくご紹介します。

東京 会場

2026.10.6 火 14:15 ~ (13:45 受付開始)

会場 TKP ガーデンシティ PREMIUM 秋葉原
(東京都千代田区外神田 1-7-5 フロントプレイス秋葉原)

定員 150 名 参加費 8,500 円 (懇親会費含む)

*各会場とも 16:30 ~ 懇親会を開催。(18:30 終了予定)

大阪 会場

2026.10.7 水 14:15 ~ (13:45 受付開始)

会場 TKP ガーデンシティ大阪梅田
(大阪府大阪市福島区福島 5-4-21 TKP ゲートタワービル)

定員 80 名 参加費 8,500 円 (懇親会費含む)

こんな方におすすめです

- ☑ デザインを新人スタッフに、**どう教えたらいいかわからない。**
- ☑ 担当者によって、**デザイン品質にムラがある。**
- ☑ 施主の要望に振り回されて、**デザインがブレる。**
- ☑ コンセプトが定まっておらず、**毎回違うデザインになる。**

セミナー講師 *プロフィールは裏面参照



佐藤高志
株式会社サトウ工務店 代表



鈴木淳
ネイティブディメンションズ
一級建築士事務所 代表

協賛企業

セミナーで伝えたいこと

1

トレンドを追って消耗しない。

トレンドは短期的には競争力になり得るかもしれませんが、陳腐化のスピードも早いもの。トレンドを優先して自社の標準仕様が定まらないと、経営効率が悪化する可能性があります。

2

感覚的なデザインでコストを増やさない。

感覚的にデザインやプランを検討することで、基礎や構造材がコストアップするケースは少なくありません。競合他社に価格で負ける場合は、感覚的なデザインを見直す必要があります。

3

デザインと構造は一体に検討する。

デザインを考えた後に構造チェックをすると、外観デザインやプランの大幅な変更を余儀なくされる可能性があります。デザインと構造は一体に検討する必要があります。

4

自社のデザインルールをつくる。

社内で統一されたデザインルールがないと、担当者ごとに異なる感覚でデザインがなされるため、自社のブランドイメージが定まりません。デザインルールや標準化が必要です。

講師紹介



SATO
KOMUTEN

佐藤高志

株式会社サトウ工務店 代表

1968年新潟県三条市生まれ。2010年より同社代表取締役。全棟長期優良住宅、全棟耐震等級3・断熱性能等級7（HEAT20G3）を実現し、大型パネルを使用した品質の安定した高性能住宅にこだわりつつも、立地の個性を活かしたデザイン性の高い住まいの設計を得意としている。2018年には建築コミュニティ「住学（すがく）」を結成。同業者のネットワークとして、技術のスキルアップ、SNSなどの活動を行っている。主な著書「デザイナーズ工務店の木造住宅納まり図鑑」「木造住宅の構造デザイン入門」。



鈴木淳

ネイティブディメンションズ
一級建築士事務所 代表

1973年新潟市生まれ。数寄屋建築、ツーバイフォー工法、接合金物工法などの設計経験を経て2008年に独立。構造・温熱・意匠を一体化した「小さい家」の設計が強み。2018年には地元建築事業者とともに、勉強会「住学（すがく）」を共同創設。以降、得意分野を生かしたコラボやサポートなども手がける。現在、新潟県建築士会新潟支部支部長、新木造住宅技術研究協議会（新住協）新潟支部副支部長も務める。新建ハウジングで「見せる構造 魅せる設計 - 骨格が導くデザイン -」を連載中。

お申し込み方法

右のQRコードからお申込みください。



東京会場

タッチ

大阪会場

タッチ

主催・お問い合わせ

株式会社 サトウ工務店
〒955-0165 新潟県三条市高屋敷 65-1
MAIL satoh-koumuten65@sirius.ocn.ne.jp
TEL 090-2162-7079
URL sato-home.co.jp

ネイティブディメンションズ一級建築士事務所
〒950-0028 新潟県新潟市東区小台 7-25
MAIL info@native-dimensions.com
TEL 090-1459-8508
URL native-dimensions.com